

平成 30 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社エイアンドティー
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 三 坂 成 隆
 (コード番号：6722)
 問 い 合 わ せ 先 取締役経営管理本部長 新 国 泰 正
 電 話 番 号 0 4 5 - 4 4 0 - 5 8 1 0 (代)

第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 2 月 8 日に発表いたしました平成 30 年 12 月期の第 2 四半期累計期間の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,700	310	300	210	33 円 56 銭
今 回 修 正 (B)	4,065	151	151	97	15 円 51 銭
増 減 額 (B-A)	▲634	▲158	▲148	▲112	—
増 減 率 (%)	▲13.5%	▲51.2%	▲49.4%	▲53.8%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 平成 29 年 12 月期第 2 四半期	4,608	314	307	239	38 円 32 銭

2. 第 2 四半期累計期間業績予想修正の理由

当第 2 四半期累計期間の業績予想につきましては、売上高は、主に臨床検査情報システム（以下、LIS）及び検体検査自動化システム（以下、LAS）において、上期見込んでいた稼働案件（約 280 百万円）が下期に延期となりました。また、自社製品比率を高め、収益性向上を図る中期経営計画の基本方針のもと、他社製品の販売が大幅に減少（約 284 百万円）したこと等により、売上高は減少する見込み（約 634 百万円）であります。

利益面につきましては、減収の影響に加え、LIS において、他社競争による販売価格の低下、想定した以上の工数が突発的に発生し案件の原価が増加したこと等により、売上総利益が減少しました。一方で、重点施策の一つである LIS 及び LAS の新規案件の獲得は順調に推移しており、中長期的な売上拡大に向けた営業活動を着実に実施しております。また、LAS における採算性向上や、自社製品の販売比率を高める効率的な販売活動に注力した結果、売上総利益率は増加する見込みとなっております。

また、販売費及び一般管理費につきましては、研究開発費は開発投資案件の見極めにより約 43 百万円下回る一方で、人材投資、部門新設等により販売費及び本社費が約 63 百万円増加したことにより、当第 2 四半期累計期間では、約 20 百万円増加する見込みであります。その結果、営業利益は約 158 百万円、経常利益は約 148 百万円減少し、四半期純利益は約 112 百万円減少する見込みであります。

なお、平成 30 年 12 月期の通期業績予想につきましては、特に第 4 四半期会計期間において LIS 及び LAS の大型案件の売上が集中することが見込まれており、受注状況、販売見込、設備投資の計画等を総合的に勘案して、現時点では前回予想値を据え置いております。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以 上